

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2023年7月分)

2023年8月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[シュミット上級代表によるボン・パワー行使\(1日\)](#)

●[スレブレニツァの虐殺28周年追悼式典\(11日\)](#)

●[大統領評議会議長の交代\(16日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[エネルギー関連法案の採択\(31日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[RS改正刑法の採択\(20日\)](#)

●[RS高官等に対する米国の制裁\(31日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[第5回BH安定化・連合理事会\(19日\)](#)

(2) 二国間関係

●[ベチロビッチ大統領評議会メンバーの訪英\(2日～5日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[杵渕大使のスレブレニツァの虐殺追悼式典参列\(11日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●シュミット上級代表によるボン・パワー行使(1日)

1日、シュミット上級代表はボン・パワーを行使。RS国民議会が6月に採択した2つの法律(BH憲法裁判所決定不履行法、法律等のRS官報掲載に係る改正法)を無効化するとともに、BH刑法を改正し、「憲法秩序に対する攻撃」とみなす対象を従来規定されていた「力の行使及び力の行使を行うとの脅迫」以外の「その他の違法行為」にも拡大。また、上級代表決定の不履行に対する刑罰を追加した。

●スレブレニツァの虐殺28周年追悼式典(1日)

11日、スレブレニツァ市郊外のポトチャリにおいて、スレブレニツァの虐殺28周年追悼式典が実施され、BH国内からベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバー、コムシッチ同クロアチア系メンバー、クリシュトBH閣僚評議会議長、ヘレズBH副首相兼国防大臣、ズビズディッチBH下院議長、ニクシッチBH連邦首相等の他、諸外国・国際機関よりアイヒホルスト欧州対外行動庁(EEAS)欧州・中央アジア担当局長、アバゾビッチ・モンテネグロ首相等が参列した。また、エルドアン・トルコ大統領は式典へビデオメッセージを寄せた。

●EU加盟に係る世論調査結果(13日)

BH欧州統合局が本年5～6月に実施した年次世論調査(1200名対象)の結果によれば、BHのEU加盟を支持する市民の割合は全体の73.3%で、昨年比+4.1%(エンティティ・行政区ごとの結果は、BH連邦86%、RS50.6%、ブルチュコ特別区70.1%)

EU加盟への賛成理由としては、移動の自由の促進、及び持続的な平和と政治的安定

の保障が主な回答。反対に、不支持の理由としては生活費及び税金の上昇が半数以上を占めたほか、文化的多様性の喪失が挙げられた。

●大統領評議会議長の交代(16日)

16日、輪番制に基づき、BH大統領評議会議長がツビヤノビッチ同セルビア系メンバーから、コムシッチ同クロアチア系メンバーに交代した。任期は8ヶ月であり、来年3月まで議長職を務める予定。

●国政与党による会合(24日)

24日、国政与党による会合が実施され、8月22日のBH下院におけるセッションでBHのEU加盟に向けた重要法案の採択を進めること、及び法の支配強化に向けた作業部会を設置することについて各者とも一致した。

8月22日の会合の前に、審議内容の最終確認のためもう一度国政与党会合が実施される見込み。

(2) エンティティ、特別区

ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●エネルギー関連法案の採択(31日)

31日、BH連邦上院は、エネルギー及びエネルギー活動規制法案等を採択した。本法案は、エネルギー関連の法制度をEU基準に調和させること、及びエネルギー供給の安定化と価格の安定、関連企業のサービス向上等を目的としたもの。法案には、発電所の建設、電力の生産及び供給、電力の取引といった面での規制が含まれている。

イ スルブスカ共和国(RS)

●ツビヤノビッチ大統領評議会議長によるグテーレス国連事務総長宛書簡(12日)

12日、ツビヤノビッチBH大統領評議会議長(セルビア系)は、グテーレス国連事務総長宛に書簡を発出。シュミット上級代表の任命の正

当性を問うため、根拠となる決定文書等の提供を要請した。

●RS刑法改正案の採択(20日)

20日、RS国民議会は侮辱罪への刑事罰規定を含むRS刑法の改正案を採択した。同改正案は本年3月にRS政府が発表、同23日の第一読会にてRS国民議会在が可決し、60日間の公聴会が実施されたもの。RS刑法における侮辱罪規定は2001年に削除されており、今般の再導入はメディアへの圧力や言論の自由の制限につながるとしてBH国内メディア及び国際社会からも批判が行われていた。

●RS高官等に対する米国の制裁(31日)

31日、米国財務省は、BH憲法裁判所決定不履行法の採択によるBHの憲法秩序の不安定化等を理由として、ツビヤノビッチBH大統領評議会セルビア系メンバー、ステバンディッチRS国民議会議長、ビシュコビッチRS首相、ブケイロビッチRS司法相に対して米国内の資産凍結等の経済制裁を課すことを発表した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●コナコビッチ外相のドブロブニク・フォーラム出席(7日～8日)

7日～8日、コナコビッチBH外相はクロアチアで開催されたドブロブニク・フォーラムに出席。西バルカンの安全保障に関するパネルに登壇したほか、ボレルEU上級代表及びエスコバル米国務次官補代理(西バルカン担当)と会談した。

コナコビッチ外相は、EUからの支援の重要性及び西バルカン地域への米国の関心の高まりの重要性をそれぞれ指摘し、EU・NATO加盟をBHの優先課題と位置づけ、BHの改

革の実施における米国の積極的役割を期待する旨述べた。

●アイヒホルストEEAS欧州・中央アジア担当局長のBH訪問(11日～13日)

11日～13日、アイヒホルスト欧州対外行動庁(EEAS)欧州・中央アジア担当局長がBHを訪問し、スレブレニツァの虐殺追悼式典に参列したほか、クリシュトBH閣僚評議会議長と会談した。クリシュト議長との会談において、アイヒホルスト局長は、現体制の閣僚評議会が発足後EU加盟に向けて達成した成果を高く評価し、今後も対話の雰囲気 が保たれたまま、必要な法案の採択等が迅速に進むよう期待している旨述べた。

また、アイヒホルスト局長訪問に際し、当地EU代表部において国政与党関係者による会合が実施された。

●第5回BH安定化・連合理事会(19日)

19日、ブリュッセルにおいて第5回BH安定化・連合理事会が実施され、BHからは閣僚評議会代表团としてクリシュト同議長、ヘレズ副首相兼国防相、コシャラツ通商・経済関係相が出席した。EU側は、閣僚評議会発足後の順調な機能およびEU加盟に必要な諸法案・諸合意の採択等が進んでいることを評価。クリシュト議長は今後も14の優先課題の達成のために改革に取り組み、BH選挙法の改正実現に向けて取り組むと強調した。

他方で、報道によれば、会合後に発出予定の共同宣言は、RSに対する否定的な言及を受け入れられないとしてコシャラツ大臣が署名を拒否したため発出されなかったとされる。

(2) 二国間関係

●ベチロビッチBH大統領評議会メンバーの訪英(2日～5日)

2日～5日、ベチロビッチBH大統領評議会

ボシュニャク系メンバーは訪英し、スナク英首相、クレバリー英外相、ピーチ英西バルカン特使、ヒーピー英国防政務次官(軍担当)等の要人と会談を実施した。諸会談において、ベチロビッチ・メンバーはドディックRS大統領による分離主義的動向の過激化を強く非難し、同大統領の罷免も含めて、国際社会の支持による強い対応が必要である旨強調した。クレバリー外相、ヒーピー政務次官等からはEUFORへの英国からの派兵再開の可能性も検討している旨発言があった。スナク首相も、参加・不参加にかかわらずEUFORとの協力は拡張する旨発言。

●ラマ・アルバニア首相のBH訪問(7日)

7日、ラマ・アルバニア首相はBHを訪問し、クリシュトBH閣僚評議会議長及びベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバーと会談した。今般の訪問は本年10月にティラナで予定されているベルリン・プロセス・サミットに向けたものであり、会談では特にベルリン・プロセスへのコミット及び地域協力の重要性が強調された。特に、ラマ首相は、現在BH国内でコンセンサスが取れていない、IDカードによる移動の自由の保障の重要性を強調した。

(3) 日・BH関係

●杵渕大使のスレブレニツァの虐殺追悼式典参列(11日)

11日、杵渕駐BH日本大使は、スレブレニツァ市郊外のポトチャリにおいて実施されたスレブレニツァの虐殺28年追悼式典に諸国大使と共に参列し、記帳簿への記帳と献花を行った。

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2023年6月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比5. 5%のマイナス。また、前年同月比7. 6%のマイナス。

●雇用／失業率

2023年5月の失業者登録数は34万4, 952人(うち女性20万1, 568人)で、前月比1. 3%マイナス。前年同月比で4. 3%マイナス。

●平均給与

2023年5月の平均給与(手取り)は1, 275 KMで、前年同月比で2. 7%のプラス。

●消費者物価指数

2023年6月の消費者物価指数は前月比で0. 2%のマイナス。また、前年同月比で平均4. 9%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比で平均0. 3%の低下。

●貿易収支

2023年1月～6月のBHからの輸出総額は86. 8億KM(約22. 5億ユーロ。前年比4. 5%減)、BHへの輸入総額は136. 1億KM(約69. 6億ユーロ。前年比0. 6%減)。貿易収支は49. 3億KM(25. 2ユーロ)の赤字。

(2) 経済政策・公共事業

●BHの観光客数の増加(13日)

コロナ禍以降の観光業の復調に伴い、BHを訪れる観光客数は回復し、本年1月～5月の観光客数は566, 207名(前年同期比+23. 3%)。また、中国・韓国・日本からの観光客数も回復傾向にある。統計によれば、本年1月～5月にBHを訪れた中国からの観光客は11, 049名(前年同期比2. 5倍増)。同時期の韓国の観光客は4, 822名、日本観光客は1, 038名で、いずれも昨年に比べて大幅に増加。

●アフリカ豚コレラの感染拡大(28日)

6月末以降、BH全土においてアフリカ豚コレラの感染が拡大しており、RS等の一部地域では非常事態宣言が発出されたほか、ブルチュコ特別区では1000頭以上の豚が殺処分となっている。コシャラツBH通商・経済関係大臣は、食肉の輸入に際した規制及び検査の強化を行うよう関係省庁に通達した。

(3) 経済協力

●トルコ・BHビジネス会合の開催(19日)

19日、BH対外貿易商工会議所の主催により、BH及びトルコの企業関係者による会合が実施され、BHの投資環境に関する意見交換が実施された。会合では、BHにおける改革の履行及びそれに伴う経済成長傾向が評価され、現在も非常に緊密であるBH・トルコ間の経済関係のさらなる強化に対する期待が述べられた。

(4) 民間セクター

●ウィズエアーの一部路線の運行停止(20日)

ハンガリーに本部を置くウィズエアー(LCC)は、トゥズラ空港に所在する基地を本年9月に閉鎖し、別の場所へ移転する旨決定した。これに伴い、現在運行中の一部路線は廃止となるが、トゥズラ発の4路線(バーゼル＝ミュンヘン、ドルトムント、フランクフルト＝ハーン、メミンゲン)は引き続き運行予定。

●サラエボ・スコピエ間航空便の就航(27日)

ギリシャ・エーゲ航空は、本年10月2日よりサラエボ・スコピエ(北マケドニア)間の直通便を就航する旨発表した。運航は月・水・金の週3便となる予定。